

幕末明治の写真師列伝 第百十三回 内田九一 補足二

奥様はついでなので、高橋家の裏手にある今の堀江松五郎家まで案内してくれることになった。というのも奥様は堀江松五郎家の本家筋に当たる堀江勇右衛門家から今の高橋利尚氏のところへ嫁いだ方であった。

堀江松五郎家は堀江勇右衛門家の玄関口に入る道からはす向かいにある家で、旧住所でいえば北区堀船町一丁目 943 番であった。明治時代は堀江味噌醸造所の工場であったという。

(* 田久保周誉著、堀船郷土史を語る会編『堀船郷土史平成増補版』(宗教法人福性寺、平成 28 年、元版は昭和 27 年発行)より転載、堀江味噌醸造所の広告及び「堀船町一、二丁目居住者名簿」)

そこで僕はその家を訪ねてみたのだが、あいにくと誰もおらずお留守であった。この場所は株式会社ベネッセスタイルケアが運営する「グランダ王子」という住宅型有料老人ホーム(東京都北区堀船 1-6-6)と、その建物の右隣りにある今の堀江忠司氏のご自宅(東京都北区堀船 1-6-5)が建っている敷地であった。



グランダ王子



堀江忠司氏のご自宅

先ほどの奥様の話だと「堀江家の墓はみんな荒川の方にある福性寺にあり、その寺のご住職にお会いして話を聞いてみたら何か判るかもしれませんよ」とアドバイスを頂いた。そこで僕はその福性寺にも行ってみることにした。

福性寺(ふくしょうじ)は、北区堀船 3-10-16 にある真言宗豊山派の寺院で、創建年代は不明であるが、境内には暦応 2 年(1339)の板碑あることから、その頃から寺が存在していたものと推測される。福性寺のすぐ隣りにある白山神社の旧別当寺でもある。



明治 37 (1904) 年江戸時代からの福性寺本堂



現在の福性寺



堀江松五郎家代々の墓域

福性寺の田久保海誉住職にはお会いできて、いろいろとお話も伺うことができ、本堂前の境内墓地にある堀江松五郎家代々の墓域も教えて頂いた。また、今の堀江松五郎のご子孫にあたる堀江忠司氏とも連絡を取ってくださるとのことであった。念のため、「福性寺の境内墓地には佐藤泰然の順天堂、佐藤家、松本良順の縁者の墓はないか」と、ご住職に調べて貰ったが、その関係の墓は一つもなかった。

その後、田久保海誉住職が過去帳を調べてくださったおかげで、幕末から明治初年の堀江松五郎は、三代目の堀江松五郎であることが判った。また、堀江忠司氏との電話やメールのやり取りで、残念ながら先の大戦による空襲で、堀江家には古い記録が何も残っていないことも判った。(つづく)

(森重和雄)